

令和6年10月23日

各関係機関の長 殿

弘前大学地域戦略研究所長

東 信 行

(公印省略)

地域戦略研究所新エネルギー研究部門（風力・海洋エネルギー分野助教）教員公募要項

1. 募集職種・人員 助教 1名
2. 任 期 5年（再任可）
3. 所 属 地域戦略研究所新エネルギー研究部門
4. 専 門 分 野 風力・海洋エネルギー分野
5. 担 当 科 目 理工学部自然エネルギー学科の一部の授業，修士課程では大学院地域共創科学研究科の授業，この他，全学共通の教養教育科目を担当予定
6. 採用予定時期 令和7年4月1日
7. 待 遇 (1) 給与については，国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用になります。
(2) 労働条件については，弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 (1) 博士の学位を有し（着任時までの取得見込みも含む），風力・海洋エネルギーに関する分野を専門とする者
(2) 外国人の場合は，学内諸業務の遂行が可能な日本語運用能力を有する者
9. 応 募 書 類 以下の(1)から(8)の書類をそれぞれPDF形式で電子化したファイル。全体をzip形式でアーカイブしてJREC-IN Portal サイト
<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop> から提出すること。
(1) 履歴書（別紙様式1）
高等学校卒業以後の学歴，職歴，学会及び社会における活動等，賞罰等を記載してください。なお，出産・育児や介護等にもなう研究中断期間がある場合には，中断の期間を履歴書内に記載してください。
写真（3ヶ月以内に撮影したもの）を貼付してください。
(2) 研究業績目録（様式自由）
以下の分類により発行年または発表年の新しいものから順に記載してください。主要業績（別刷提出論文）には○印を，応募者氏名についてはアンダーラインを付して下さい。
分類は，①査読付き論文（全文査読付き会議プロシーディングス含む），②査読なし論文（アブストラクト査読付き会議プロシーディングス含む），③著書，④総説・解説記事，⑤招待講演（国内外），⑥国際会議講演リスト，⑦学術関係受賞，⑧特許（登録済・審査中に区分して記載）とします。各分類では，著者名（全員の記載順），題名，刊，最初と最後のページ，発行年（発表年），著書の場合は発行所または発表会議の名称を記載する

こと。

- (3) 研究業績目録に記載された論文、総説及び著書のうち主要なもの3編以内
- (4) (3)の各編の学術的意義に関する簡潔な説明書（様式自由）
- (5) これまでに獲得した競争的外部資金の獲得実績（外部資金の種類、年度、研究題目等、研究代表者・分担者の別、獲得額がわかるように記載してください）及び学会等における活動実績（様式自由）
- (6) 従前の研究活動の特徴と今後の教育研究に対する抱負を 2,000 字以内にまとめたもの（様式自由）
- (7) 地域戦略研究所における地域貢献に対する抱負を 1,200 字以内にまとめたもの（様式自由）
- (8) 応募者について参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先（所属、役職、電話番号、E-mail アドレスを記入のこと）及び応募者との関係

10. 応募期限 2024年（令和6年）12月9日（月）24時（日本標準時）

11. 選考方法 (1) 書類選考
(2) 候補者による発表（研究、地域貢献に関するこれまでの実績と今後の抱負）
(3) 候補者に対する面接
※選考の過程において、応募者周辺の方に意見を伺う場合があります。また、(2)(3)についてはオンラインで実施することがあります。詳細は別途通知します。

12. 問い合わせ先 弘前大学地域戦略研究所総務グループ
電話 0172-39-3733 E-mail jm3363@hirosaki-u.ac.jp

13. その他 (1) 今回の公募では、風車に及ぼす風荷重評価、風車後流の影響評価、陸上・洋上風力発電所の高効率化等の風力・海洋エネルギーに関連する分野の知見をもって、地域の再生可能エネルギーに関わる教育・研究・地域貢献を実施できる方を希望します。部局構成教員の情報については、地域戦略研究所ホームページを参考にしてください。
(<https://www.iri.hirosaki-u.ac.jp/>)
(2) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。
(<https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)
(3) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
(4) 応募書類により取得する個人情報、本公募による助教候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
(5) 選考の過程で、研究・教育・地域貢献に関する発表及び面接をお願いする場合、旅費は応募者の負担となります。

以上